

2025 年度業務実績報告書

提出日 2026 年 1 月 14 日

1. 職名・氏名 准教授・古藪真紀子

2. 学位 学位 修士、専門分野 国際開発学、授与機関 名古屋大学、授与年 2010 年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 2026 年度より以下の 3 科目を実施するための準備を行った。 （1）「異文化理解と多文化共生」（2 単位） （2）「多文化共修フィールドワーク」（2 単位） （3）「多文化共修演習」（2 単位） ② 内容・ねらい （1）異文化理解と多文化共生をテーマに、世界各地域の文化的特徴や国際問題、そして日本社会における多文化共生の現状を学ぶ。文化相対主義やコミュニケーションの違い、偏見やカルチャーショックなどを理解するとともに、移民・難民、外国人労働者、教育現場の課題など具体的事例を扱う。 （2）福井県の有する①歴史的に培われた伝統文化、②豊かな自然環境、③地域に根差した伝統産業といった地域の多様で価値ある資源に着目する。これらを題材に、日本人学生と外国人学生が協働して学習・活動を行い、地域理解を深めるとともに、異文化理解の促進を図る。 （3）国際開発の視点から「持続可能な開発目標（SDGs）」を基盤に、地域社会が直面する課題とその解決策を考察する。国際的および地域的な課題に対する分析力や判断力を養い、グループワークを通じて協働的に解決策を模索する。 ③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 （1）ゲストスピーカー（2 名程度）を招き、現場の視点から学びを深め、最終的に共生社会の実現に必要な考え方を養う。 （2）フィールドワークやグループワーク、地域住民との交流を取り入れ、体験的・実践的な学びを重視することで、国際的な視野を養いつつ、地域社会とのつながりを意識した学修を目指す。 （3）体験型教材 The SDGs Action Cardgame「X（クロス）」を用いて、SDGs の理解を深めつつ、学習者自身が主体的に課題を発見し、解決に向けたアイデアを創出するプロセスを理解する。
(2)その他の教育活動
内容 ・2026 年度実施の「多文化共修フィールドワーク」のトライアルとして、留学生と日本人学生（10 名）との共修による研修を恐竜博物館において実施（7/29）。 ・福井県内資源についての情報収集（永平寺、一乗谷朝倉氏遺跡博物館、越前和紙の里、うるしの里、東尋坊を訪問し、留学生を対象とした講義への活用を検討）。 ・全留学生を対象とした個人面談の実施（6 月－7 月、12 月－1 月）。小浜キャンパスにおいても実施（7/10）。 ・日本語クラス SA 雇用管理

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
① 著書	【 本】
② 学術論文（査読あり）	【 本】
③ その他論文（査読なし）	【 本】
④ 学会発表等	【 件】
⑤ その他の公表実績	【 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
【学外】 なし	
【学内】 ステップアップ研究支援	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	
国際開発学会 開発におけるジェンダー分析研究部会	

5. 地域・社会貢献活動

・「特定非営利活動法人愛・知・みらいフォーラム」、講師、中高生を対象とした国際理解教育への取り組み（H26.4～現在に至る） ・独立行政法人国際協力機構 出前授業講師（開発教育）（H26.4～現在に至る） ・「ふくいアライアンス」、会員、主催：福井大学グローバルエンゲージメント推進本部、福井で学ぶ留学生の卒業後の地域定着を促進する地域協働のプラットフォーム（R7.10～現在に至る） ・R7.11.7 講演「国際協力をジェンダーでひもとく～私たちにできること～」@愛知県立千種高等学校
--

6. 大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
【全学委員会】 学生支援員会 国際委員会 大学院委員会デポジトリ部会 ・学生支援委員会の代表として、JASSO 主催の「令和 7 年度 心の問題と成長支援ワークショップ」に参加（8/20-21） 【外国人学生支援チーム】 （留学生獲得のための活動） ・国際教育夏季研究大会（8/6-7）に参加し、全国の研究者・実務者との交流を通じて今後の業務に資するネットワークを構築。 ・ASEAN を中心とした日本への留学情報の収集（日本留学促進のためのネットワーク機能強化事業（東南アジア）主催の日本留学事情オンライン説明会への参加：マレーシア、インドネシア、ミャンマー、ラオス・カンボジア） ・日本語学校（カイ日本語スクール@東京）との連携事業の検討 ・ノルウェー・ベルゲン大学との交換留学協定の検討 ・キルギス、ウズベキスタンで大学運営を行っている日系企業を訪問。大学院への進学の可能性について意見交換。 （留学生の満足度のための活動） ・留学生満足度調査票の作成 ・個別面談実施 ・日本語教育の拡充について検討（ベネッセ） ・ニーズ調査に基づいたエクスカージョンの実施（恐竜博物館） ・留学生就職支援（情報提供：福井県内の企業団体等が開催する交流会、ネットワーキング支援、相談対応） ・他大学（福井大学等）の留学生との交流事業について検討
(3)学内行事への参加
オープンキャンパス 秋入学式
(4)その他、自発的活動など
・足羽高校「国際協働部」との連携の可能性を検討（ヒアリング） ・永平寺町と留学生の交流等について検討（ヒアリング） ・テネシーからの留学生（地域経済研究所）へのアテンド